

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	第二東海自動車道（秦野～御殿場J）
事業主体	中日本高速道路株式会社

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	費用便益比（B/C）= 2.7 （経済的純現在価値（B-C）= 6,772億円、経済的内部収益率（EIRR）= 10.1%）

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	渋滞損失時間（整備前）：19.20億人・時間/年 渋滞損失削減時間（削減率）：23.76百万人・時間/年（1.2%） （19.19億人・時間/年 18.96億人・時間/年）
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	・神奈川県域で旅行速度の改善が期待される
		並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	・東名高速道路を運行している高速バスの定時性が向上
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	・御殿場市～羽田空港、1時間39分 1時間32分（約7分）
	物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	・富士御殿場工業団地～横浜港、1時間43分 1時間37分（約6分）
		農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	・静岡県庁～横浜町田IC 1時間58分 1時間52分（約6分）
	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		三大都市圏の環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	・秦野市総合計画はだの2010，第三次御殿場市総合計画 第三次小山町総合計画
	国土・地域ネットワークの構築	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	・沼津市役所 横浜市役所 1時間58分 1時間52分（約6分）

		日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	・小山町役場 沼津市役所 53分 51分(約2分)
	個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	・御殿場IC：山中湖、富士登山等 ・秦野IC：丹沢山表尾根大倉や県立秦野戸川公園等
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2.暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	・小山町役場 沼津市立病院 44分 42分(約2分)
3.安全	安全な生活環境の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	・「東海地震対策大綱」(中央防災会議：会長内閣総理大臣)において、「地震に強い交通ネットワーク」として位置付け
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	・代替する緊急輸送道路路線名：現東名、代替する区間(大井松田～御殿場)
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	・(伊勢原J (東名高速道路) 御殿場J) 伊勢原J (第二東名高速道路) 御殿場J
	並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	・事前通行規制区間：一般国道246号小山町(連続雨量250mm)	
4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量(整備前)：9,151万t-CO2/年 CO2排出量削減量：15万t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	NOx排出量(整備前)：15.1万t-NOx/年 NOx排出量削減率：0.35%
		並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量(整備前)：1.10万t-SPM/年 SPM排出量削減率：0.60%
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	・一般国道246号は15箇所、国道1号は7箇所、騒音レベルの夜間要請限度を超過している。
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5.その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	・小山町開放型休憩施設設置構想
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	・現東名高速道路の混雑緩和、緊急時のネットワークの形成

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
第二東海自動車道	秦野～御殿場JCT	33km	高速自動車国道	-

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
48,300～50,600	4	中日本高速道路株式会社

## 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	4,835億円	1,023億円	5,858億円
うち残事業分	4,779億円	1,023億円	5,802億円
基準年における 現在価値 (C)	3,775億円	292億円	4,068億円
うち残事業分	3,720億円	292億円	4,012億円

## 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	699億円	39億円	12億円	750億円
基準年における 現在価値 (B)	10,113億円	565億円	162億円	10,839億円
うち残事業分	10,113億円	565億円	162億円	10,839億円

## 結 果

費用便益比（事業全体）	2.7
経済的純現在価値（事業全体）	6,772億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.1%
費用便益比（残事業）	2.7
経済的純現在価値（残事業）	6,827億円
経済的内部収益率（残事業）	10.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	48,300 ~ 50,600	± 10%	2.4 ~ 3.0
事業費	4,012億円	± 10%	2.5 ~ 3.0
事業期間	10年	± 1年	2.6 ~ 2.8

# 交通状況の変化

様式 - 3

## 事業名：第二東海自動車道（秦野～御殿場JCT）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設道路 (秦野～御殿場 JCT)：33km	交通量	[台/日]	-	50,100	
	走行時間	[分]	-	22	
	走行時間費用	[億円/年]	-	249	
主な周 辺道路	東名高速 道路：26 km	交通量	[台/日]	70,000	43,400
		走行時間	[分]	30	18
		走行時間費用	[億円/年]	491	180
	一般国道 246号： 26km	交通量	[台/日]	15,100	13,400
		走行時間	[分]	41	41
		走行時間費用	[億円/年]	143	124
	中央自動 車道：21 km	交通量	[台/日]	52,700	42,900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	169	135
	一般国道 271号小 田原厚木 道路：14 km	交通量	[台/日]	19,800	15,200
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	39	29
	一般国道 1号西湘 バイパ ス：8km	交通量	[台/日]	25,900	21,700
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	28	23
その他道路合計 ：39,633km		走行時間費用	[億円/年]	279,829	279,259
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：39,761km	走行時間短縮便益	[億円/年]	280,699	279,999	700

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：第二東海自動車道（秦野～御殿場JCT）

新設道路  
第二東海自動車道(秦野～御殿場JCT)

主な周辺道路  
東名高速道路



主な周辺道路  
中央自動車道

主な周辺道路  
一般国道246号

主な周辺道路  
一般国道271号小田原厚木道路

主な周辺道路  
一般国道1号西湘バイパス

# 費用便益分析の条件

事業名：第二東海自動車道(秦野～御殿場JCT)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
	その他	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成22年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	(2030)
	複数時点での推計	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ の推計の場合	有 無 いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
	その他( )	
開発交通量の考慮	無	
	有	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
	転換率式を用いた配分	
	Q - V式と転換率式の併用による配分	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	簡易手法	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	
	最終配分の速度 採用理由を記載	
	その他 (高規格道路の速度は道路種別・車線当たり交通量から設定。また一般道の速度は沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定)	

(3)

		項目	チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する			
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定			
	その他 ( )			
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない			
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				





## 費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額除く)			
箇所名:第二東海自動車道(秦野~御殿場JCT)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	33	-	
年次	年度	割引率	GDP デフレ-タ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 16年目	H 17	1.2167	103.6				
- 15年目	H 18	1.1699	102.8	2	2		
- 14年目	H 19	1.1249	101.9	8	8		
- 13年目	H 20	1.0816	101.3	4	4		
- 12年目	H 21	1.0400	100.0	6	6		
- 11年目	H 22	1.0000	100.0	37	37		
- 10年目	H 23	0.9615	100.0	58	55		
- 9年目	H 24	0.9246	100.0	99	91		
- 8年目	H 25	0.8890	100.0	99	88		
- 7年目	H 26	0.8548	100.0	253	216		
- 6年目	H 27	0.8219	100.0	1,128	927		
- 5年目	H 28	0.7903	100.0	1,127	891		
- 4年目	H 29	0.7599	100.0	1,067	810		
- 3年目	H 30	0.7307	100.0	562	410		
- 2年目	H 31	0.7026	100.0	213	150		
- 1年目	H 32	0.6756	100.0	175	118		
全線供用開始年次	H 33	0.6496	100.0			19	12
1年目	H 34	0.6246	100.0			19	12
2年目	H 35	0.6006	100.0			19	11
3年目	H 36	0.5775	100.0			19	11
4年目	H 37	0.5553	100.0			19	11
5年目	H 38	0.5339	100.0			19	10
6年目	H 39	0.5134	100.0			19	10
7年目	H 40	0.4936	100.0			20	10
8年目	H 41	0.4746	100.0			20	9
9年目	H 42	0.4564	100.0			20	9
10年目	H 43	0.4388	100.0			20	9
11年目	H 44	0.4220	100.0			20	8
12年目	H 45	0.4057	100.0			20	8
13年目	H 46	0.3901	100.0			20	8
14年目	H 47	0.3751	100.0			20	8
15年目	H 48	0.3607	100.0			20	7
16年目	H 49	0.3468	100.0			20	7
17年目	H 50	0.3335	100.0			20	7
18年目	H 51	0.3207	100.0			21	7
19年目	H 52	0.3083	100.0			21	6
20年目	H 53	0.2965	100.0			21	6
21年目	H 54	0.2851	100.0			21	6
22年目	H 55	0.2741	100.0			21	6
23年目	H 56	0.2636	100.0			21	5
24年目	H 57	0.2534	100.0			21	5
25年目	H 58	0.2437	100.0			21	5
26年目	H 59	0.2343	100.0			21	5
27年目	H 60	0.2253	100.0			21	5
28年目	H 61	0.2166	100.0			21	5
29年目	H 62	0.2083	100.0			26	5
30年目	H 63	0.2003	100.0			21	4
31年目	H 64	0.1926	100.0			21	4
32年目	H 65	0.1852	100.0			21	4
33年目	H 66	0.1780	100.0			21	4
34年目	H 67	0.1712	100.0			21	4
35年目	H 68	0.1646	100.0			21	3
36年目	H 69	0.1583	100.0			21	3
37年目	H 70	0.1522	100.0			21	3
38年目	H 71	0.1463	100.0			21	3
39年目	H 72	0.1407	100.0			21	3
40年目	H 73	0.1353	100.0			21	3
41年目	H 74	0.1301	100.0			21	3
42年目	H 75	0.1251	100.0			21	3
43年目	H 76	0.1203	100.0			20	2
44年目	H 77	0.1157	100.0			20	2
45年目	H 78	0.1112	100.0			20	2
46年目	H 79	0.1069	100.0			20	2
47年目	H 80	0.1028	100.0			20	2
48年目	H 81	0.0989	100.0			20	2
49年目	H 82	0.0951	100.0	-408	-39	20	2
合計				4,427	3,775	1,023	292
単純事業費計				4,835			

注)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額除く)

箇所名:第二東海自動車道(秦野~御殿場JCT)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)		延長(km)	単純価値(億円)
				-	33	-	
- 16年目	H 17	1.2167	103.6				
- 15年目	H 18	1.1699	102.8				
- 14年目	H 19	1.1249	101.9				
- 13年目	H 20	1.0816	101.3				
- 12年目	H 21	1.0400	100.0				
- 11年目	H 22	1.0000	100.0				
- 10年目	H 23	0.9615	100.0	58	55		
- 9年目	H 24	0.9246	100.0	99	91		
- 8年目	H 25	0.8890	100.0	99	88		
- 7年目	H 26	0.8548	100.0	253	216		
- 6年目	H 27	0.8219	100.0	1,128	927		
- 5年目	H 28	0.7903	100.0	1,127	891		
- 4年目	H 29	0.7599	100.0	1,067	810		
- 3年目	H 30	0.7307	100.0	562	410		
- 2年目	H 31	0.7026	100.0	213	150		
- 1年目	H 32	0.6756	100.0	175	118		
全線供用開始年次	H 33	0.6496	100.0			19	12
1年目	H 34	0.6246	100.0			19	12
2年目	H 35	0.6006	100.0			19	11
3年目	H 36	0.5775	100.0			19	11
4年目	H 37	0.5553	100.0			19	11
5年目	H 38	0.5339	100.0			19	10
6年目	H 39	0.5134	100.0			19	10
7年目	H 40	0.4936	100.0			20	10
8年目	H 41	0.4746	100.0			20	9
9年目	H 42	0.4564	100.0			20	9
10年目	H 43	0.4388	100.0			20	9
11年目	H 44	0.4220	100.0			20	8
12年目	H 45	0.4057	100.0			20	8
13年目	H 46	0.3901	100.0			20	8
14年目	H 47	0.3751	100.0			20	8
15年目	H 48	0.3607	100.0			20	7
16年目	H 49	0.3468	100.0			20	7
17年目	H 50	0.3335	100.0			20	7
18年目	H 51	0.3207	100.0			21	7
19年目	H 52	0.3083	100.0			21	6
20年目	H 53	0.2965	100.0			21	6
21年目	H 54	0.2851	100.0			21	6
22年目	H 55	0.2741	100.0			21	6
23年目	H 56	0.2636	100.0			21	5
24年目	H 57	0.2534	100.0			21	5
25年目	H 58	0.2437	100.0			21	5
26年目	H 59	0.2343	100.0			21	5
27年目	H 60	0.2253	100.0			21	5
28年目	H 61	0.2166	100.0			21	5
29年目	H 62	0.2083	100.0			26	5
30年目	H 63	0.2003	100.0			21	4
31年目	H 64	0.1926	100.0			21	4
32年目	H 65	0.1852	100.0			21	4
33年目	H 66	0.1780	100.0			21	4
34年目	H 67	0.1712	100.0			21	4
35年目	H 68	0.1646	100.0			21	3
36年目	H 69	0.1583	100.0			21	3
37年目	H 70	0.1522	100.0			21	3
38年目	H 71	0.1463	100.0			21	3
39年目	H 72	0.1407	100.0			21	3
40年目	H 73	0.1353	100.0			21	3
41年目	H 74	0.1301	100.0			21	3
42年目	H 75	0.1251	100.0			21	3
43年目	H 76	0.1203	100.0			20	2
44年目	H 77	0.1157	100.0			20	2
45年目	H 78	0.1112	100.0			20	2
46年目	H 79	0.1069	100.0			20	2
47年目	H 80	0.1028	100.0			20	2
48年目	H 81	0.0989	100.0			20	2
49年目	H 82	0.0951	100.0	-390	-37	20	2
合計				4,390	3,720	1,023	292
単純事業費計				4,779			

注)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 便益の現在価値算定表(事業全体・残事業共通)

箇所名:第二東海自動車道(秦野~御殿場JCT)

年次	年度 (基準年 H 22)	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	費用合計 (~)	現在価値 割引率4%	
全線供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.6496	100.0	157	37	505	699	454	8	1	30	39	25	12	8	750	487
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.6246	100.0	157	37	506	699	437	8	1	30	39	24	12	7	750	469
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.6006	100.0	157	36	506	699	420	8	1	30	39	23	12	7	750	451
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.5775	100.0	157	36	506	700	404	8	1	30	39	22	12	7	750	433
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.5553	100.0	157	36	507	700	388	8	1	30	39	22	12	7	750	417
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.5339	100.0	157	36	507	700	374	8	1	30	39	21	12	6	750	401
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.5134	100.0	157	35	507	700	359	8	1	30	39	20	12	6	751	385
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.4936	100.0	157	35	507	700	345	8	1	30	39	19	12	6	751	371
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.4746	100.0	158	35	508	700	332	8	1	30	39	19	12	6	751	356
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.4564	100.0	158	34	508	700	319	8	1	30	39	18	12	5	751	343
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.4388	100.0	156	34	509	700	307	8	1	30	39	17	12	5	750	329
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4220	100.0	155	34	510	699	295	8	1	30	39	16	12	5	750	317
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4057	100.0	154	34	511	699	284	8	1	30	39	16	12	5	750	304
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.3901	100.0	153	33	513	699	273	8	1	30	39	15	12	4	749	292
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.3751	100.0	151	33	514	698	262	8	1	30	39	15	11	4	749	281
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.3607	100.0	150	33	515	698	252	8	1	30	39	14	11	4	748	270
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.3468	100.0	149	33	516	698	242	8	1	30	39	14	11	4	748	259
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3335	100.0	148	33	517	697	233	8	1	30	39	13	11	4	748	249
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3207	100.0	147	32	518	697	224	8	1	30	39	12	11	4	747	240
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3083	100.0	145	32	519	697	215	7	1	30	39	12	11	3	747	230
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.2965	100.0	144	32	520	697	207	7	1	30	39	12	11	3	746	221
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.2851	100.0	143	32	522	696	198	7	1	30	39	11	11	3	746	213
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.2741	100.0	142	32	523	696	191	7	1	31	39	11	11	3	746	204
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.2636	100.0	140	31	524	696	183	7	1	31	39	10	11	3	745	196
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2534	100.0	139	31	525	695	176	7	1	31	39	10	11	3	745	189
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2437	100.0	138	31	526	695	169	7	1	31	39	9	11	3	745	181
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2343	100.0	137	31	527	695	163	7	1	31	39	9	11	2	744	174
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2253	100.0	136	30	528	694	156	7	1	31	39	9	11	2	744	168
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2166	100.0	134	30	529	694	150	7	1	31	39	8	10	2	743	161
29年目	H 62	0.99078	0.99289	1.00212	0.99328	0.2083	100.0	133	30	531	694	144	7	1	31	39	8	10	2	743	155
30年目	H 63	0.99070	0.99284	1.00211	0.99323	0.2003	100.0	132	30	532	693	139	7	1	31	39	8	10	2	743	149
31年目	H 64	0.99061	0.99278	1.00211	0.99319	0.1926	100.0	131	30	533	693	133	7	1	31	39	7	10	2	742	143
32年目	H 65	0.99052	0.99273	1.00211	0.99314	0.1852	100.0	129	29	534	693	128	7	1	31	39	7	10	2	742	137
33年目	H 66	0.99043	0.99268	1.00210	0.99309	0.1780	100.0	128	29	535	692	123	7	1	31	39	7	10	2	741	132
34年目	H 67	0.99034	0.99262	1.00210	0.99305	0.1712	100.0	127	29	536	692	118	7	1	31	39	7	10	2	741	127
35年目	H 68	0.99025	0.99257	1.00209	0.99300	0.1646	100.0	126	29	537	692	114	6	1	31	39	6	10	2	741	122
36年目	H 69	0.99015	0.99251	1.00209	0.99295	0.1583	100.0	124	29	538	691	109	6	1	31	39	6	10	2	740	117
37年目	H 70	0.99005	0.99246	1.00208	0.99290	0.1522	100.0	123	28	540	691	105	6	1	32	39	6	10	1	740	113
38年目	H 71	0.98995	0.99240	1.00208	0.99285	0.1463	100.0	122	28	541	691	101	6	1	32	39	6	10	1	739	108
39年目	H 72	0.98985	0.99234	1.00207	0.99280	0.1407	100.0	121	28	542	691	97	6	1	32	39	5	10	1	739	104
40年目	H 73	0.98975	0.99228	1.00207	0.99274	0.1353	100.0	120	28	543	690	93	6	1	32	39	5	10	1	739	100
41年目	H 74	0.98964	0.99222	1.00207	0.99269	0.1301	100.0	118	27	544	690	90	6	1	32	39	5	10	1	738	96
42年目	H 75	0.98953	0.99216	1.00206	0.99264	0.1251	100.0	117	27	545	690	86	6	1	32	39	5	9	1	738	92
43年目	H 76	0.98942	0.99210	1.00206	0.99258	0.1203	100.0	116	27	546	689	83	6	1	32	39	5	9	1	737	89
44年目	H 77	0.98931	0.99204	1.00205	0.99253	0.1157	100.0	115	27	547	689	80	6	1	32	39	4	9	1	737	85
45年目	H 78	0.98919	0.99197	1.00205	0.99247	0.1112	100.0	113	27	549	689	77	6	1	32	39	4	9	1	737	82
46年目	H 79	0.98907	0.99191	1.00204	0.99241	0.1069	100.0	112	26	550	688	74	6	1	32	39	4	9	1	736	79
47年目	H 80	0.98895	0.99184	1.00204	0.99236	0.1028	100.0	111	26	551	688	71	6	1	32	39	4	9	1	736	76
48年目	H 81	0.98883	0.99178	1.00204	0.99230	0.0989	100.0	110	26	552	688	68	6	1	32	39	4	9	1	735	73
49年目	H 82	0.98870	0.99171	1.00203	0.99224	0.0951	100.0	109	26	553	687	65	6	1	32	39	4	9	1	735	70
合計(H33~H82)								6,871	1,554	26,313	34,737	10,113	353	53	1,538	1,944	565	533	162	37,215	10,839

便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。